

～都に鄙に、また山に～
郵便局を旅する地域活性マガジン

散歩人

SANPOJIN
9月号 vol.17

雄大な山なみと
伝統×モダンなまち
北陸

局長さんご推薦！
お取り寄せの逸品
全国産品プレゼント
(富山・福井県)

わたしと手紙
鶴田 真由さん



contents

散歩人 | vol.17 | Sep. 2012

〈特集〉

2 雄大な山なみと伝統×モダンなまち 北陸

新鮮で上品な加賀料理の味と器を堪能して、
スタイリッシュな空間に贅沢なときを楽しむ。
北アルプスを貫く山岳ルートをゆけば圧倒の景観美。
山と海が思いのほか近い、北陸のまちを訪ねました。

8 わたしと手紙 鶴田真由さん

10 郵便局のあるまちをたずねて 石川県金沢市、小松市、七尾市

局長さんご推薦！

16 お取り寄せの逸品 全国産品プレゼント (富山・福井県)

18 灯のリレー～復興のバトン～ ともしび

19 座右宝 より素敵に生きるために 森田 高さん

20 切手で訪ねるふるさとの旅

22 川柳「二匹目のどぜう」

24 読者のみなさんから／コラム「龍の鱗」

25 バンコク雑記帳／読者プレゼント

北アルプスの景勝地の中、美しいアーチを描く「黒部ダム」。放水量は毎秒10t。高さ186m(日本一)



「世紀の大事業」と語りつがれる工事は7年の歳月、1000万人以上の労力を費やし、昭和37年(1962)に完成した。写真は171人にも及ぶ殉職者をしのぶモニュメント「尊きみはしらに捧ぐ」

立山黒部アルペンルートに関するお問い合わせ／立山黒部観光
電話／076-432-2819
<http://www.alpen-route.com/>
立山駅～黒部湖往復で大人10,490円

広がる山々の大パノラマ

立山黒部アルペンルート

富山市街から約2時間で、標高3,000m級の山々の大パノラマが眼前に広がる「立山黒部アルペンルート」。

古くから信仰の対象であった立山は今から約半世紀前、電源開発工事にもなう資材運搬ルートの開道をきっかけに開発が進められました。幾多の難工事を克服して、昭和46年(1971)に同ルートの全線開通が実現したのです。

富山県側からは、立山駅からケーブルカー・高原バス・トロリーバス・ロープウェイと、中部山岳国立公園の景勝地の中を乗り継ぎ、黒部ダムへ向かいます。

平地より10℃ほど低い気温。6～7月の高山植物、9～11月の紅葉の時期、そして4～5月、20m高にもなる雪の壁の間をバスでゆく「雪の大谷」が人気を集め、年間100万人以上が訪れます。



室堂平から見る立山。右手が主峰・雄山。おだやかな湖面が美しいみくりが池



「和彩膳所 楽味」では京都「祇園さゝ木」のダイナミックで繊細な割烹の醍醐味が堪能できる



右「いくらはこはん 三つ葉」、左上「鱧と松茸の出会い 秋茄子」、左下「津軽海峡のまぐろ寿司」



スタイリッシュ・モダンな北陸の名宿

リバーリトリート 雅楽俱

ゆったりとした神通峡の川面を見つめていると「時」をどこかに置き忘れたかのよう。「リバーリトリート 雅楽俱」は細部にまで洗練されたデザインの、川のほとりの隠れやど。スタイリッシュ・モダンなお部屋、やすらぎの湯どころ、斬新かつ秀逸な懐石見立ての日本料理とフレンチ。長くともまりたい、北陸の名宿です。



1991年からミシュラン三ツ星を維持し続けている「ベルナルド・ロワゾー・オガニザシオン」と提携した西洋膳所「サヴァール」。血の空間を生かした芸術作品のような一品ひと品写真は「北海道産殻付きウニ」。ワインは富山県氷見気鋭のワイナリー「セイズ・ファーム」の意欲作



吹き抜けで開放的なエントランス・ロビー

ところ／富山県富山市春日56-2
電話／076-467-5550
料金／12,000～28,000円(1泊朝食付)、夕食各レストランとも13,000～25,000円
交通／JR笹津駅から徒歩15分。富山空港、JR富山・八尾・笹津駅から送迎あり



アート感覚に満ちた洋室から落ち着いた和室まで、部屋ごとに趣が異なる25室(上左と上右)／湯どころは、川に面した露天風呂と、ジャクジーやミストサウナなどを備えたスパ。アロマスペースも充実(下左)／川の流れる楽しみながらくつろげる部屋風呂(下右)



華麗で個性的なアミューズ。左からケークサレ、富山牛モツァレラ、チーズズワイガニとアサリゼリ、寄せ、グリエール、コンテチーズ、食用ほうろぎとコマのチュスター、稚鮎のエスカベッシュ、キウイフルーツジュース

マイケル・リン
「市民ギャラリー 2004.10.09-2005.03.21」2004年
加賀友禪が創作のヒントになったといわれる



遊び心満載の開放的アートスペース

金沢 21 世紀美術館

「まちに開かれた公園のような美術館」
が建築コンセプト。円形の建物に4カ所の
入口が設けられ、展覧会ゾーンと交流
ゾーンで構成されています。世界の気鋭
アーティストによる不思議で楽しい現代
美術が次々に現れ、アートの迷路のよう
な空間へ誘ってくれます。



美術館の建物はすべてガラス張り

ところ/石川県金沢市広坂1丁目2番1号
電話/076-220-2800
開館時間 展覧会ゾーン10:00～18:00(金・
土曜は20:00まで)
交通/JR金沢駅からバス「香林坊」下車徒歩5分
<http://www.kanazawa21.jp/>



レアンドロ・エルリッ
ヒ「スイミング・プール」
2004年 下からは水中
にしているような感覚

長町武家屋敷跡
石畳の路地に、加賀百万
石を支えた藩士の住ま
いが続く。土塀や長屋門
など落ち着きある界限。
JR金沢駅からバス「香林
坊」下車

9月の夜の会席献立から。中央は加賀名物「鴨治部煮」、手
前右は郷土料理「のど黒塩糍焼 松茸」。それから時計まわ
りに「御造り あら 赤烏賊 甘海老 雲丹」「無花果生ハ
ム巻 鮑」「御八寸」「生口子など」「穴子の焼浸し」「甘鯛唐
揚げ うるこ揚げ 松茸フライ」



洗練さと気品の逸品。
加賀料理の真髓を伝える

つば甚

創業宝暦2年
(1752)。金沢で最も
歴史があり、加賀料理の
真髓を伝える老舗料亭
です。
地元の食材を生かし
た郷土料理を、九谷焼や
蒔絵をほどこした漆器な
どの絢爛豪華な器に盛
り付けた加賀料理。「つば
甚」の料理は洗練さと気
品を感じさせる逸品ぞろ
いです。

ところ/石川県金沢市寺町5丁
目1番8号
電話/076-241-2181
営業時間/11:00～(入店は
13:00まで)、17:00～(入店
は19:00まで)。年末年始休
メニュー/昼の会席10,500円
～、夜の会席21,000円～など
交通/JR金沢駅から車で10分
<http://www.tsubajin.co.jp/>

